

・ 学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	江津市立江津中学校（フロンティアスクール名）					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	3	3	1	10	25
生徒数	105	90	107	4	306	

・ 研究の概要

1. 研究主題

「自ら学び考える力を育むための基礎・基本の定着」
～学力向上フロンティアスクールへの取り組みを通して～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年各教科 全教職員で研究に取り組むため。

(2) 年次ごとの計画

平成
14
年度

テーマ 学び方の育成（学習の手引きの作成）

研究の見通し（仮説） 学び方の基礎・基本を定着させる授業を展開していけば、生徒一人一人が自ら学び考える力を伸ばし、自分を見つめ、自己を高めようと努力をするであろう。

研究主題、研究組織の設定、研究計画の作成、教職員の共通理解を図る。

研究の内容・方法

アンケート調査による生徒の実態把握を行う。

評価規準、基準の作成を行う。

学習の手引きの作成を行う。

習熟度別編成による少人数学習を行うことで基礎・基本を定着させる。

家庭・地域との連携を行う。

平成
15
年度

テーマ 指導法、教材作り（学習の手引きの改善）

研究の見通し（仮説） 学び方の基礎・基本を定着させる授業を展開していけば、生徒一人一人が自ら学び考える力を伸ばし、自分を見つめ、自己を高めようと努力をするであろう。

学習の手引きを見直し、効果的な利用を図る。少人数授業の充実。

研究の内容・方法

アンケート調査による生徒の実態把握を継続する。

評価規準、基準の見直しを行う。

学習の手引きの質的向上や効果的な活用を図る。

少人数学習及び選択教科の編成と指導法を工夫する。

指導法や教材作り、開発に努める。

情報発信の工夫により、家庭・地域との連携を強化する。

平成
16
年度

テーマ 評価方法の確立と生徒の意欲付け（学習の手引きの改善）

研究の見通し（仮説） 学び方の基礎・基本を定着させる授業を展開していけば、生徒一人一人自ら学び考える力を伸ばし、自分を見つめ、自己を高めようと努力をするであろう。

学習の手引きの効果的な利用を図る。少人数授業の充実。

研究の内容・方法

アンケート調査による生徒の実態把握により、成果を確認する。

評価方法を確立し、生徒の意欲につなげる。

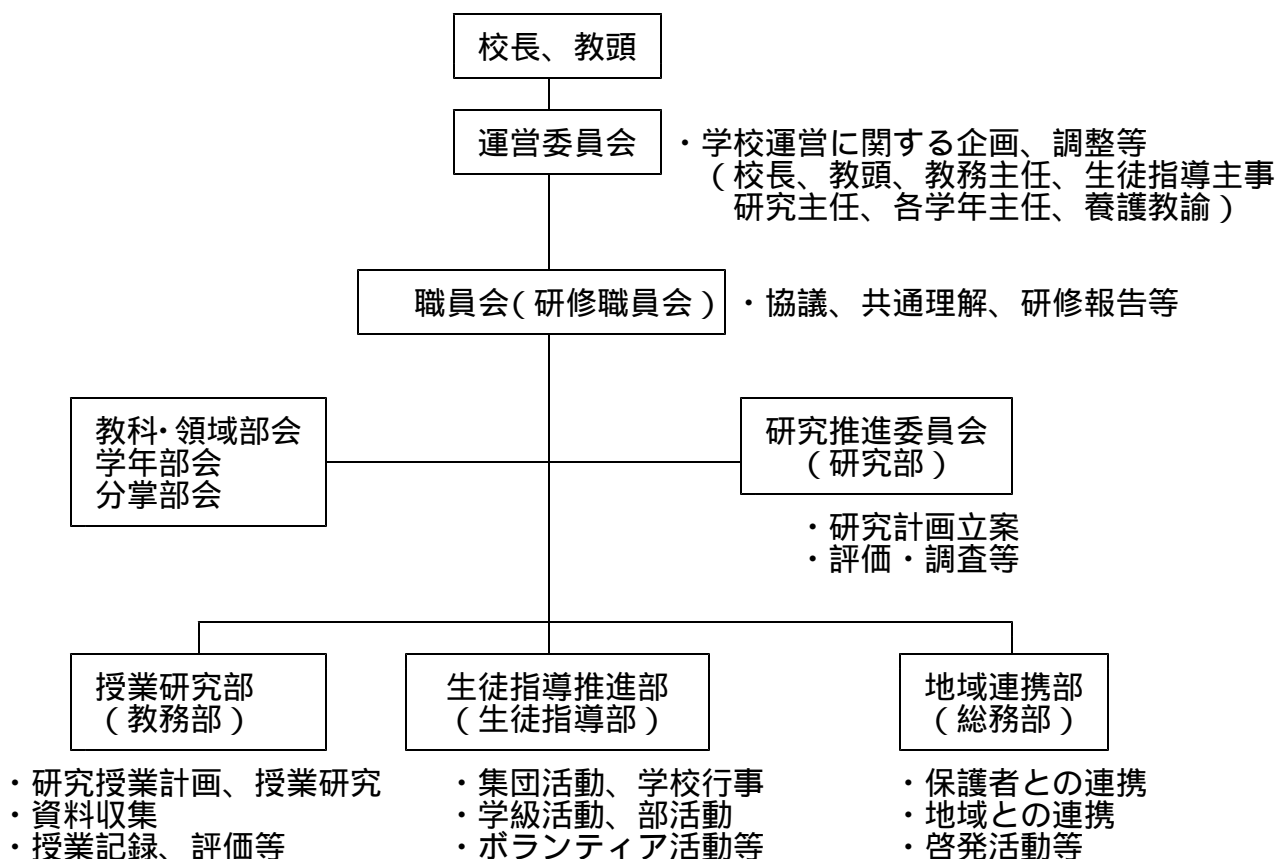
学習の手引きを利用し、自ら学ぶ姿勢を育てる。

少人数学習などの授業で、きめ細かな指導を工夫し生徒の意欲を育てる。

公開授業等を通して、成果を発表する。

(3) 研究推進体制

・フロンティア事業に関する実践研究組織図



・平成15年度の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための学習教材の開発について基礎的・基本的な内容の定着のために、教科担当者間の連携が図られた。生徒の実態に即して、数学、英語の少人数学級を組織し、発展的補充的な内容及びその指導のための教材の開発が図られた。

個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善について少人数指導等の効果的な活用、編成の組み合わせを行うことができた。その結果、少人数学習を希望する生徒が昨年度は生徒の3割以上であったが、今年度は8割以上が希望するようになった。数学の少人数学級の編成において、学期ごとに生徒の希望を取り入れて習熟度別学級にすることによって、生徒の意欲が増した。各教科で学習の手引きを作成し活用することで、生徒の学習への意欲が高まりつつある。また、教師の授業に対する意識も深まってきた。校内の協力・啓発に努め、地域・保護者の理解が得られる働きかけを心がけることができた。

2. 今後の課題

以下のことに重点をおいて、研究に取り組んでいきたいと考えている。学習のアンケートをもとに、さらに生徒の実態に応じた取り組みを行う。学習の手引きの質的向上や効果的な活用を図る。各教科の評価規準及び評価基準を見直し、学習の手引きに活用するとともに、意欲を喚起する評価につなげる。情報発信の工夫により、家庭・地域との連携を強化する。少人数学習、選択教科の編成を工夫する。

・学力把握のための学校の取り組みについて

以下の取り組みを行ない学力を把握する。
定期的な「学習についてのアンケート」の実施（年2回）
定期的な学力調査の実施（年1回）

・フロンティアスクールとしての成果の普及について

研究会、説明会等の開催実績及び開催予定

学力向上フロンティア実践校として、公開授業及び研究協議を実施

日時：平成15年10月27日

場所：江津市立江津中学校

テーマ「自ら学び考える力を育むための基礎・基本の定着」
～学力向上フロンティアスクールへの取り組みを通して～

会の目的：授業公開、研究協議を通して研究の成果を発表する。

授業公開学年及び教科 1年生数学 「一次方程式」
2年生社会 「日清・日露戦争と近代産業」

研究成果普及のために学習の手引きのCDを作成し、配布した。今後も本校で作成した学習の手引きの普及に努める。

フロンティアティーチャーとして研究成果普及のために、地区協議会や地元の研究会で研究の成果を発表した。

研究成果の普及活動の成果として、他校から学習の手引きについての問い合わせがあり、研究会の参加者が、学習の手引きのCDの利用を希望した。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	14年度からの継続校		
【学校規模】	3学級以下 7～9学級 13～15学級	4～6学級 10～12学級 16学級以上		
【指導体制】	少人数指導 その他	T・Tによる指導		
【研究教科】	国語 外国語 保健体育	社会 音楽 その他	数学 美術	理科 技術・家庭科
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】	有	無		